

中津川仙台下クラブ

活動報告書

2018-11



お問い合わせ先は：
代表 沼田 彰 080-1066-5154
e-mail:sunida@hb.tp1.jp
URL:www7b.biglobe.ne.jp/~sendaishita/



中津川仙台下クラブは、愛川町の代表的地域活動を展開しています。川原の整備を通じて地域の憩いの場を作りました。今後は川原を活用する団体によって事業が起こされ、さらに使い良いフィールドになって行くことでしょう。この場所から新しい地域活動が生まれてくることを期待します。当クラブは川原の整備のみならず、地域里山や休耕農地の活用により人々が集まって来る絆の生まれる活動を行っております。

明日楓会メンバーとしての愛川高校ボランティア支援事業

今年度より愛川高校の行う高校生ボランティア体験カリキュラムに協力し、明日楓会を通じて生徒を引き受ける活動を行っております。

明日楓会の趣旨は、愛川高校を中心として通学してくる地域の社会的課題を理解してもらうために、同じ問題意識を持っている我々地域活動団体の仲間に入ってボランティア活動を体験してもらおうというものと理解しております。

高校が地域から人口を流出させる装置にさえなっているという町・県・学校関係者の危機感もあり、地域にはどんな課題があり、地域の人々は何故無償でそれを支える努力をしているか、実体験を通じて学んでいただくということです。

中津川仙台下クラブは多くの機材を使う仕事のため、危険も伴うのでほとんど1対1の密着指導を行います。そのために受け入れられる人数には限界がありますが、愛川町の重要な課題と認識しておりますので学校側も関心をもって一人でも多くの生徒に体験させてやってほしいと思います。

体験授業の内容

私たちが日常使う機械は刈払機、チェーンソー、小型ユンボなど指定機関の安全講習の履修が求められるものが中心です。安全講習を履修したベテランが1対1で機械にも興味をもってもらうよう指導しました。操作体験のほか、機



械の構造や整備保全の仕方なども学びました。酷暑日が続きましたが健康に十分注意して35時間の必須時間をクリアしました。事務所で、ボランティアの精神についても座学で学び、意見の交換もしました。この実習は生徒の単位取得のためにプランを立てたもので、お手伝いに参加してもらったものではありません。地域課題の大人の取り組みについて理解していただきたいと思います。



米つくり体験事業

今年も米つくりに挑戦しました。田んぼ部会員になるとその家族とともに参加できます。子供たちはあまり経験することのできない泥んこ遊びも田植えも体験でき、秋には鎌を使っての収穫まで親子で貴重な思い出を作ることができます。年末には収穫祭として餅つきをします。参加者にはたくさんのお餅をお土産に持って帰ります。

田んぼの作付面積は27アール、今年の収穫は「はるみ」735kg、もち米180kgと豊作でした。収穫したお米は部会員に5kgずつ配分し、作業参加者には働いた時間に応じてたくさんのお米を配分できました。愛川のおいしいお米に皆さん大喜びです。

収穫祭の場所は角田2387(有)サトウMKの庭で12月23日に行われます。田圃部会員のみならずそのお友達家族の参加もできます。



観光お花畑と野菜作り

菜の花、ヒマワリ、ざる菊といった定番のお花を栽培しました。多くのお客様に知られるよう、タウンニュースにも記事を掲載していただきました。もっともっと知られ、愛川の名物の一つに定着できるように頑張ります。花畑作りは結構大変な労力と時間を必要とします。夏の雑草との闘いには負けそうです。この事業は種まきから地域の皆さんも自由に参加できるということで始めています。どうぞ一緒に花の名所を作りましょう。また、自由花壇のようなコーナーも設けています。皆さんのお庭で余ったお花の苗や種をお持ちいただき、所定の場所で育ててみませんか。

また、畑の一角ではメンバーによる野菜づくりもしています。このフィールドを訪れ、この活動に何らかの形でかかわられた方に新鮮な季節の野菜をお分けしています。



堤防の除草作業

県土木事務所より受託事業として箕輪堤防と仙台下堤防の除草とごみの撤去の仕事を今年も完了しました。

いずれの堤防(土手)も散歩コース、川原に降りる道として常



に整備が必要となるものです。この仕事は私たちの活動資金となるもので、町民活動応援事業の補助金とともに大変助かる収入源です。土手はなめるように見事に整備します。刈り取ったすべての草を完全に撤去します。安心してジョギングのできる場所ですのでどうぞ活用ください。

